

合格体験記（AO方式入学者選抜）

第Ⅱ項 学芸 学部 音楽 学科 音楽文化 専攻

出身高校名 愛媛県立三島高等学校

（1）同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

私は高校2年生の頃に、音楽療法士になりたいという夢を持ちました。私の目指す音楽療法は、音楽と書道を組み合わせたものです。そのため、自分のしたいことを自由に研究できる同志社女子大学に興味を持ちました。また、将来必要となる資格もとることができると思い、何度もオープンキャンパスや、ピアノレッスンを受けに行き、大学の雰囲気を見に行きました。大学のスケジュールなどを見ると、他の学部との関わりもあると知り、自分の研究したいことについて、違う面からアドバイスがもらえると考え、私は第1志望校にしました。

（2）AO方式入学者選抜を受けようと思った理由。

私は30分という長い時間を使って、今までの自分の取り組みや自分自身のことをアピールできるところにAO方式の魅力を感じました。面接では10分間のプレゼンテーションの時間に音楽と融合させた書道パフォーマンスをすることで自分の魅力を最大限に発揮できると考え、AO方式に決めました。また、推薦入試の中にも面接がある入試方式もありますが、自分の個性や魅力、入学後に学びたいことを最大限面接官にアピールしようと思ったためAO方式を受験しました。

（3）AO方式入学者選抜においてアピールした活動、経歴、資格等。

私は主に書道部での活動をアピールしました。老人ホームや愛媛県を代表するイベントでの書道パフォーマンスを行ったことや、書道パフォーマンス甲子園での準優勝、書道展では愛媛県総合文化祭での最優秀賞やその他の書道展での個人賞、団体賞で多く賞をとったことをアピールしました。また、部長をしていたので自分なりの部のまとめ方を見つけたことや周囲を見て行動する力・物を柔軟にとらえ解決する力が身についたことをたくさんアピールしました。

（4）出願書類作成や面接で心がけた点。

〔出願書類作成〕

私は部活動で学んだことがたくさんあったので、何についてアピールすべきかを選ぶところから始めました。人と同じような内容でも深く語る自信があったので協調性などについて書きました。志望理由書では、過去・現在・入学後・将来を明確にして、ぶれない軸を確立したうえで作成にあたりました。また、面接のことも考え、どのような質問をされるかをイメージしながら文を作っていました。

〔面接〕

私は「音楽に関するプレゼンテーション」で書道パフォーマンスを行いました。書道パフォーマンスは、曲に合わせて体を動かし書道をする演技です。書道パフォーマンスで使った曲は、自分で演奏した曲を録音したものを使用しました。また、面接は第一印象が大切だと思い、いつもより声のトーンを上げました。そのようにすると、明るい印象が伝わります。音の高さを「1」の音をイメージして話すことで自分のモチベーションもすごく上がりワクワクしました。

（5）選抜を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

AO入試は本当に素晴らしい受験方法だと思います。自分のしたいこと、なりたいことがはっきりしているのであれば本当におすすめします。私は1次の書類審査では緊張しましたが面接当日はワクワクしていました。緊張もありましたが、自分だけを真剣に見て評価してくれる時間ですよ！この機会を無駄にしてはいけなく、何にでも答えて自分をもっと知ってほしいという気持ちで行いました。まるで普段のコミュニケーションのように楽しむことができました。この機会を逃さないでほしいです。